

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-112115
(P2003-112115A)

(43) 公開日 平成15年4月15日 (2003.4.15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テームト* (参考)
B05D 7/14		B05D 7/14	L 4D075
7/24	301	7/24	301 D

審査請求 未請求 請求項の数 6 0L (全19頁)

(21) 出願番号	特願 2001-305973 (P2001-305973)	(71) 出願人	000001409 関西ペイント株式会社 兵庫県尼崎市神崎町33番1号
(22) 出願日	平成 13年10月2日 (2001.10.2)	(72) 発明者	中村 茂 神奈川県平塚市東八幡4丁目17番1号 関西ペイント株式会社内
		(72) 発明者	赤木 雄 神奈川県平塚市東八幡4丁目17番1号 関西ペイント株式会社内
		Fターム (参考)	4D075 AE03 BB89X CA47 DB02 DC12 EA4 3

(54) 【発明の名称】 自動車車体の被覆仕上げ方法

(57) 【要約】

【課題】 自動車車体のシェルボデーの一部又は全部に、成型加工し電着塗料を塗装した金属製素材に上塗り仕上げ性を有するプラスチックフィルムを貼着するなどしてなる被覆金属製素材を使用してなる自動車車体の被覆仕上げ方法に関する。

【構成】 自動車車体の少なくとも一部に、成型加工した金属製素材に電着塗料を塗装し、ついで少なくともその外側相当部分に中塗り塗料を塗装し、その中塗り塗膜面に上塗り仕上げ性を有するプラスチックフィルムを貼着してなる被覆金属製素材を使用してなることを特徴とする自動車車体の被覆仕上げ方法。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-190071

(43) 公開日 平成16年7月8日(2004.7.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テ-マコ-ド [*] (参考)
C23C 22/12		C23C 22/12		4D075
B05D 1/36		B05D 1/36	A	4K026
B05D 7/14		B05D 7/14	L	4K044
C23C 22/82		C23C 22/82		
C23C 28/04		C23C 28/04		

請求項の数 4 審査請求 未請求 0L (全14頁)

(21) 出願番号	2002-357151	(71) 出願人	000001409 関西ペイント株式会社 兵庫県尼崎市神崎町33番1号
(22) 出願日	平成14年12月9日(2002.12.9)	(72) 発明者	嶋崎 昭彦 神奈川県平塚市東八幡4丁目17番1号 関西ペイント株式会社内
		(72) 発明者	阿久井 潤 神奈川県平塚市東八幡4丁目17番1号 関西ペイント株式会社内 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動車車体の表面処理方法

(57) 【要約】

【課題】 少なくとも一部に高張力鋼板を用いて組み立てられた自動車車体上に均一に、防食性に優れた処理膜を形成することのできる表面処理方法を提供すること。

【解決手段】 少なくとも一部に高張力鋼板を用いて組み立てられた自動車車体を必要に応じて脱脂・洗浄・表面調整した後、リン酸亜鉛処理を行い、次いで(A)加水分解性チタン化合物、加水分解性チタン化合物の低縮合物、水酸化チタン及び水酸化チタンの低縮合物よりなる群から選ばれる少なくとも1種のチタン化合物を過酸化水素水と混合して得られるチタン含有水性液、並びに(B)有機酸、有機酸の塩、金属弗化水素酸、金属弗化水素酸塩、有機塩基性化合物及びアンモニアから選ばれる少なくとも1種の化合物を含有してなるチタン系金属表面処理剤により処理してなることを特徴とする自動車車体の表面処理方法。

【選択図】 なし

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2004-230234

(43) 公開日 平成16年8月19日(2004.8.19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード [*] (参考)
B05D 7/14		B05D 7/14	L 4D075
B05D 7/24		B05D 7/24	303J

請求項の数 12 審査請求 未請求 0L (全9頁)

(21) 出願番号	2003-019294	(71) 出願人	000003997 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地
(22) 出願日	平成15年1月28日(2003.1.28)	(74) 代理人	100099900 【弁理士】 西出 眞吾
		(74) 代理人	100097180 【弁理士】 前田 均
		(74) 代理人	100111419 【弁理士】 大倉 宏一郎
		(74) 代理人	100117927 【弁理士】 佐藤 美樹
		(72) 発明者	水野 哲志 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社内

最終頁に続く

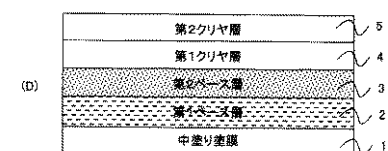
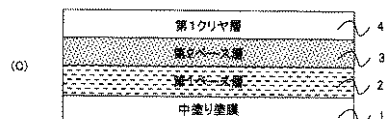
(54) 【発明の名称】 自動車用塗膜

(57) 【要約】

【課題】 膜厚を増加させることなく下地隠蔽性を高めることができる自動車用塗膜を提供する。

【解決手段】 中塗り塗膜 1 上に、蒸着アルミニウム及び着色アルミニウムを含有する第 1 ベース層 2 と、着色剤を含有する第 2 ベース層 3 と、クリア層 4, 5 が形成されている。

【選択図】 図 1



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-283690

(43) 公開日 平成16年10月14日(2004.10.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード [*] (参考)
B05D 1/18		B05D 1/18	3D114
B05C 13/02		B05C 13/02	4D075
B05D 7/14		B05D 7/14	L 4F042
B62D 65/18		B62D 65/18	B 4K026
C23C 22/73		C23C 22/73	A

請求項の数 2 審査請求 未請求 0L (全8頁)

(21) 出願番号 2003-077557
 (22) 出願日 平成15年3月20日(2003.3.20)

(71) 出願人 000110343
 トリニティ工業株式会社
 愛知県豊田市柿本町1丁目9番地

(74) 代理人 100084984
 【弁理士】 澤野 勝文

(74) 代理人 100094123
 【弁理士】 川尻 明

(72) 発明者 原 秀 明
 愛知県豊田市柿本町一丁目9番地
 トリニティ工業株式会
 社内

(72) 発明者 立 川 正 直
 愛知県豊田市柿本町一丁目9番地
 トリニティ工業株式会
 社内

(54) 【発明の名称】 自動車ボディの表面処理方法とそれに使用する台車

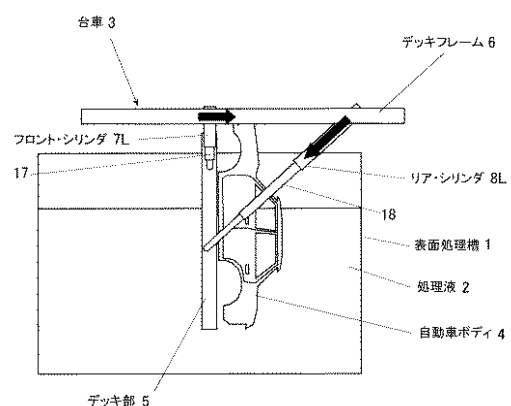
最終頁に続く

(57) 【要約】

【課題】 自動車ボディを表面処理槽に入槽させる際にボディ内部にエア溜りが生じず、表面処理槽から出槽させる際にボディ表面に付着した処理液の液切れが良く、更に、自動車ボディが処理液の慣性力で歪みを生ずるおそれがなく、また、表面処理槽を小型化してその設置スペースを小さくし、処理液の使用量も低減できる表面処理方法を提供する。

【解決手段】 表面処理槽1の上方に到来した自動車ボディ4を降下させながら前後方向に90°傾動させて表面処理槽1内の処理液2中に半没させると共に、その半没状態から更に90°傾動させて裏返した状態で全没するように入槽させ、その全没状態で表面処理した自動車ボディ4を上昇させながら前記と逆方向に90°傾動させて半没状態とし、その半没状態から更に90°傾動させて表面処理槽1から出槽させる。

【選択図】 図3



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-314050

(43) 公開日 平成16年11月11日(2004.11.11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード [*] (参考)
B05D 7/14		B05D 7/14 L	4D075
B05D 7/24		B05D 7/14 101C	4K026
C23C 22/34		B05D 7/24 302V	
C23C 22/78		C23C 22/34	
		C23C 22/78	

請求項の数 7 審査請求 未請求 0L (全17頁)

(21) 出願番号 2004-020167
 (22) 出願日 平成16年1月28日(2004.1.28)
 (31) 優先権主張番号 2003100652
 (33) 優先権主張国 JP
 (32) 優先日 平成15年4月3日(2003.4.3)

(71) 出願人 000005326
 本田技研工業株式会社
 東京都港区南青山二丁目1番1号
 (71) 出願人 000230054
 日本ペイント株式会社
 大阪府大阪市北区大淀北2丁目1番2号
 (74) 代理人 100062144
 【弁理士】 青山 葆
 (74) 代理人 100088801
 【弁理士】 山本 宗雄
 (74) 代理人 100122297
 【弁理士】 西下 正石
 (74) 代理人 100126789
 【弁理士】 後藤 裕子

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 アルミ自動車車体の塗膜形成方法

(57) 【要約】

【課題】 リン酸を含有しないジルコニウムを主成分とする化成液の浴を使用し、アルミ素材をこれに浸漬して化成処理を行う場合において、処理回数の増加によって塗膜の性能が低下することのない、複層塗膜の形成方法を提供すること。

【解決手段】 脱脂する工程；リン酸を含有しないジルコニウムを主成分とし、アルミニウムイオンを含有し、そしてフッ素イオン供給源化合物が添加された化成液の浴を使用し、該化成液のpH、及び該化成液に添加されたフッ素の量と該化成液中に存在するアルミニウムイオンの量との質量比を、図1の領域Aに示される範囲に制御して、ディップ浸漬方法を行うことにより、該被塗装面に化成液を塗布して乾燥させる化成処理工程；プライマーサーフェーサー塗膜形成工程；及び上塗り塗膜形成工程を包含するアルミ自動車車体の塗膜形成方法。

【選択図】 図1

